

上関地点 平成29年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生生物のうちハヤブサ調査において、5月に幼鳥の巣立ちを確認した。

なお、その他の陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事 排水の水質	4月11日 5月8日 6月13日 7月11日 8月8日 9月12日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.8~7.1	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	5mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月11, 25日 5月9, 23日 6月6, 20日	4月にふ化したヒナを確認し、5月、6月には巣立ち後の幼鳥4羽を確認した。なお、親鳥は各月で確認した。			写真1
	植生	5月8, 9日 7月24, 25日	イヨカズラを7箇所16株、ジュウニヒトエを44箇所448株、イヌノフグリを3箇所63株、キンランを3箇所8株、ビヤクシンを1箇所1株確認した。			写真2
海生生物	潮間帯生物	4月12, 13日	植物ではフクロノリ、イワノカワ科など53種、動物ではアマガイ、クロフジツボなど35種を確認した。			写真3
	海藻草類		ワカメ、マクサなど51種を確認した。			
	底生生物		サザエ、ムラサキウニなど6種を確認した。			
	スナメリ	4月~9月 (週1回・計24日)	確認回数は計38回、確認頭数は延べ100頭を確認した。			-
	カクメイ科等の貝類	5月23~25日 8月23~25日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所で調査を実施した。			-

※タイドプール: 干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

(その他)

- 鼻線島のミサゴ(準絶滅危惧種の鳥類)の繁殖行動状況について、継続観察した結果、7月に巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。

【参考】

《環境監視計画以外の環境調査》

○カンムリウミスズメ(写真4)

4月に延べ5個体(祝島の北東, 鼻線島の南), 6月に延べ1個体(鼻線島の北), 8月に延べ2個体(天田島の東)を確認した。

○カラスバト(写真5)

計画地点では姿および鳴き声は確認されなかった。

なお, 鼻線島においては4月に姿を確認。8, 9月に姿および鳴き声を確認した。

《その他》

9月に, 雨水等の排水を処理する仮設沈砂池の維持管理中, 沈砂池内で, ミズオオバコ(環境省絶滅危惧Ⅱ類)を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(5月9日 幼鳥4羽)

写真2:植生



イヨカズラ



ジュウニヒトエ



イヌノフグリ



キンラン



ビヤクシン

写真3:海生生物



フクロノリ



アマガイ



ワカメ



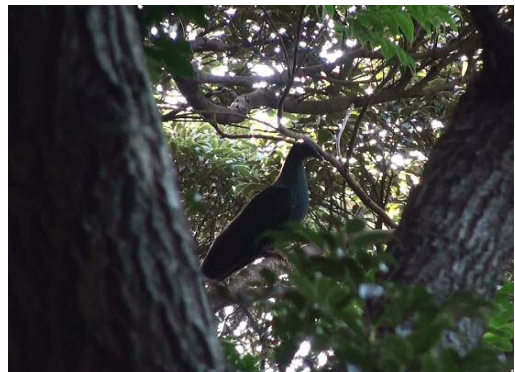
サザエ

写真4:カンムリウミスズメ



(4月18日 祝島の北東)

写真5:カラスバト



(9月12日 鼻繰島)

以 上